

極点図から配向度の指標計算を行う

R a n d o m L e v e l C a l c ソフトウェア

Ver1.00M

2016年09月23日



HelperTex Office

<http://www.geocities.jp/helpertex2>

概要

本ソフトウェアは、極点測定データに対し、バックグラウンド処理、`defocus`補正、疑似規格化処理を行った、`TXT2` (α 、 β 、極密度) データに対し、`Random`レベル (極密度1.0) に対する二乗和を計算するソフトウェアである。

計算

`Gr` : `random`係数

`I` (α 、 β) : 疑似規格化強度

$$Cr = \sum \sum (1 - I(\alpha, \beta)) * (1 - I(\alpha, \beta))$$

入力データ

`3D-Exprole`や`ODFPoleFigure2`ソフトウェアの計算結果ファイル
(α 、 β 、極密度) データ

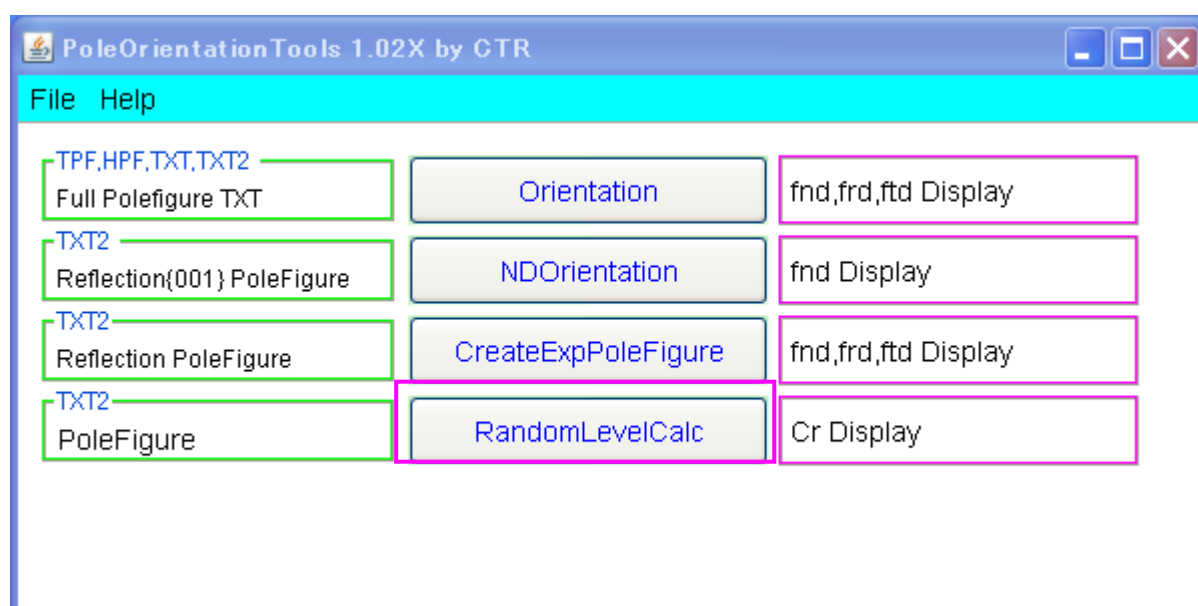
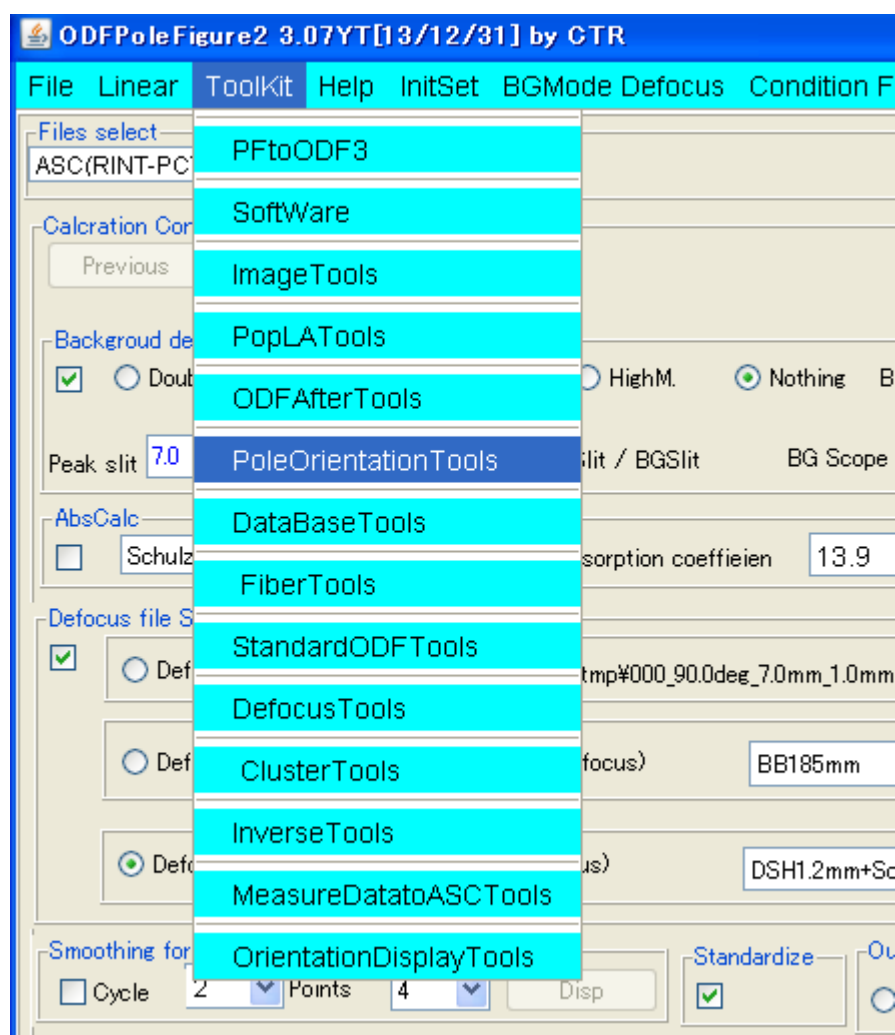
TextDisplay 1.11S C:\CTR\DATA\ODFP

File	Help	
15.0	0.0	0.5053
15.0	5.0	0.5132
15.0	10.0	0.5504
15.0	15.0	0.5894
15.0	20.0	0.6332
15.0	25.0	0.6984
15.0	30.0	0.7641
15.0	35.0	0.7981
15.0	40.0	0.8112
15.0	45.0	0.8137
15.0	50.0	0.7906
15.0	55.0	0.747
15.0	60.0	0.7154
15.0	65.0	0.7055
15.0	70.0	0.7171
15.0	75.0	0.7409
15.0	80.0	0.8245
15.0	85.0	0.9453
15.0	90.0	1.066

プログラムを直接起動

C:\¥CTR¥bin¥RandomLevelCalc.jar プログラムをダブルクリック

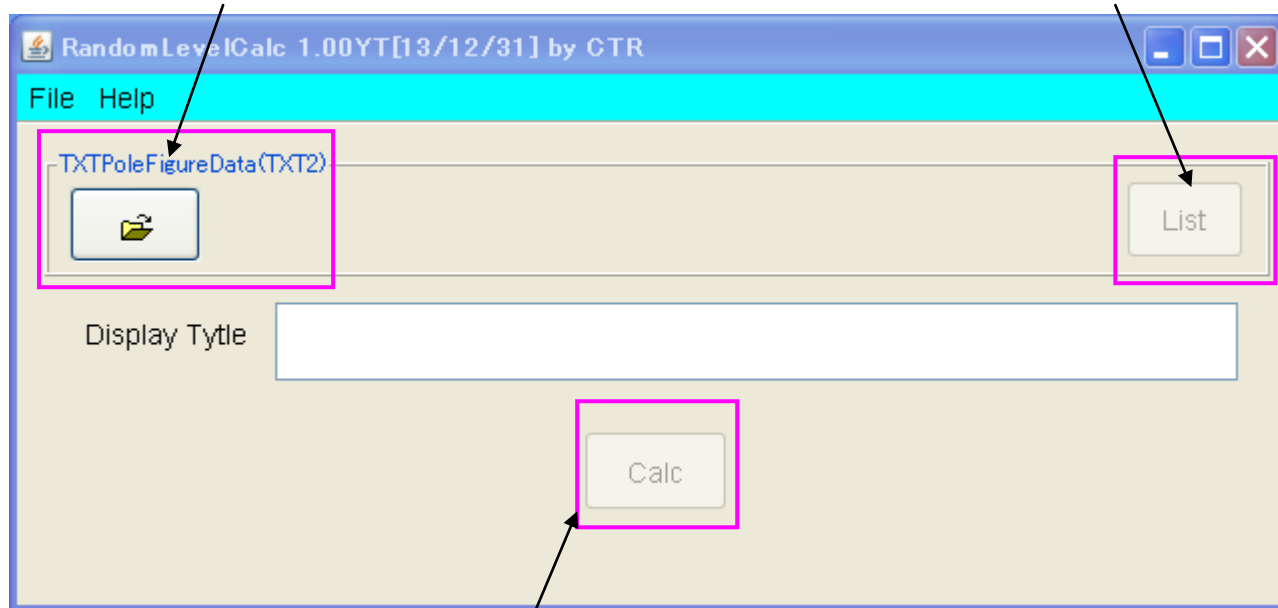
ODFPoleFigure2 プログラムの ToolKit->PoleOrientationTools->RandomLevelCalc を起動



プログラムの操作方法

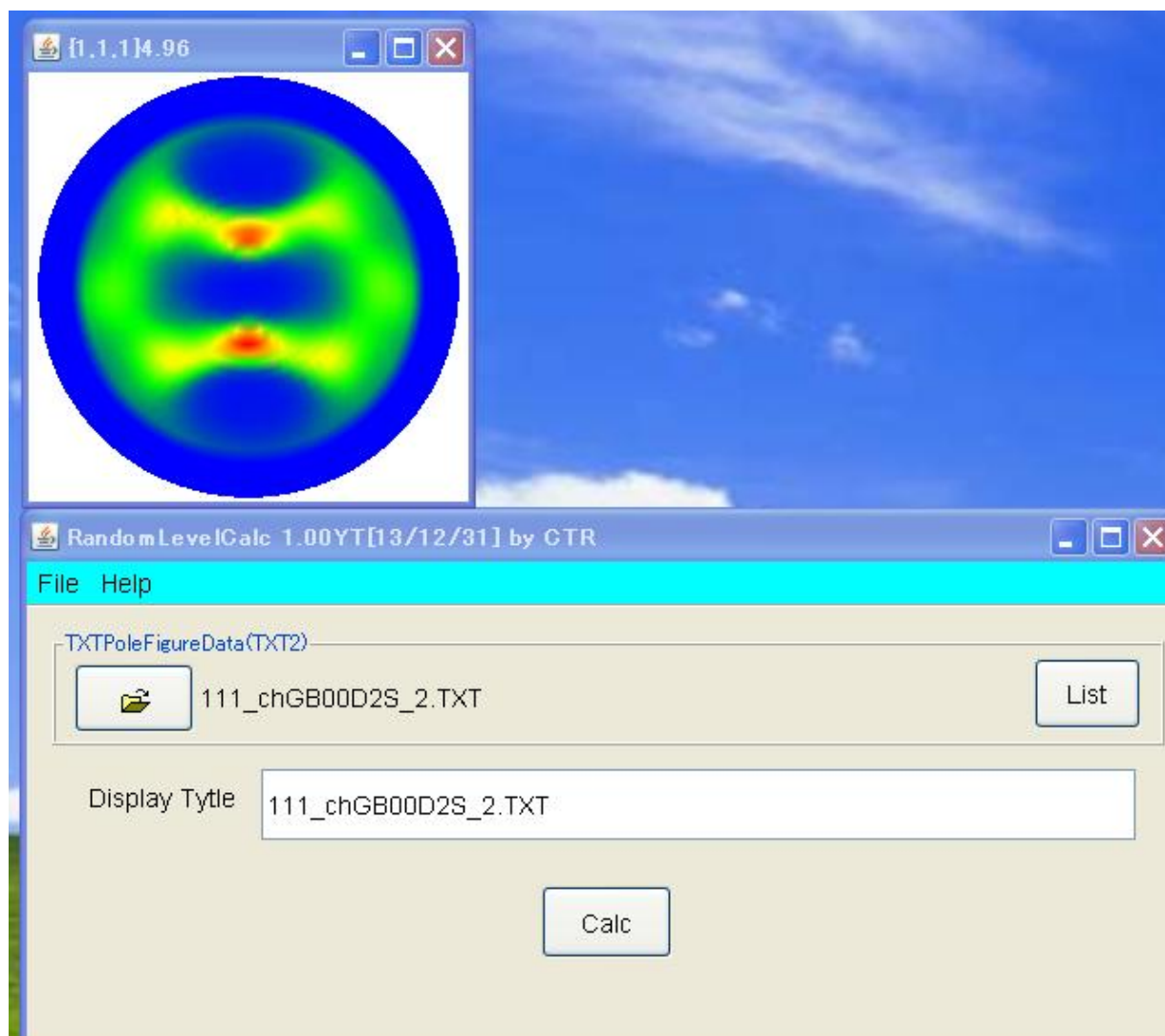
T X T 2 ファイルの選択、極点図が表示される。

T X T 2 データを表示



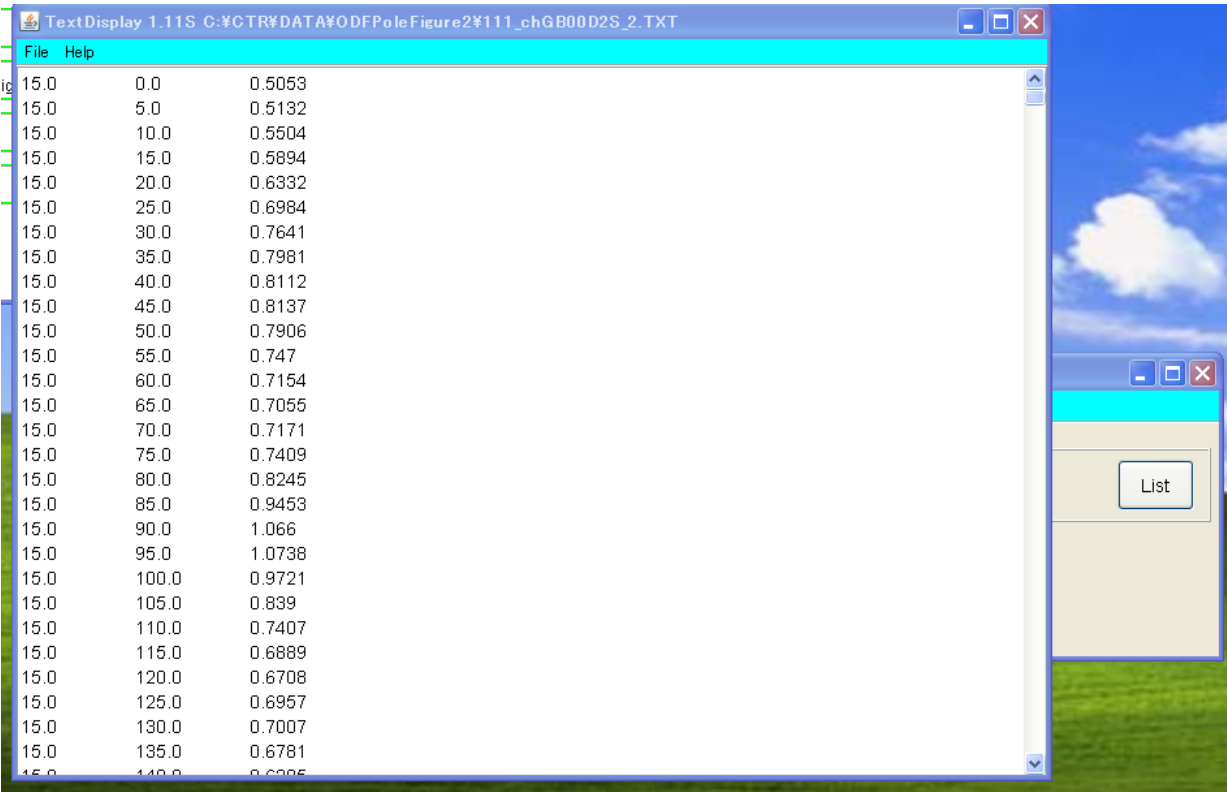
計算が開始され、結果が表示される。

T X T 2 ファイルの選択

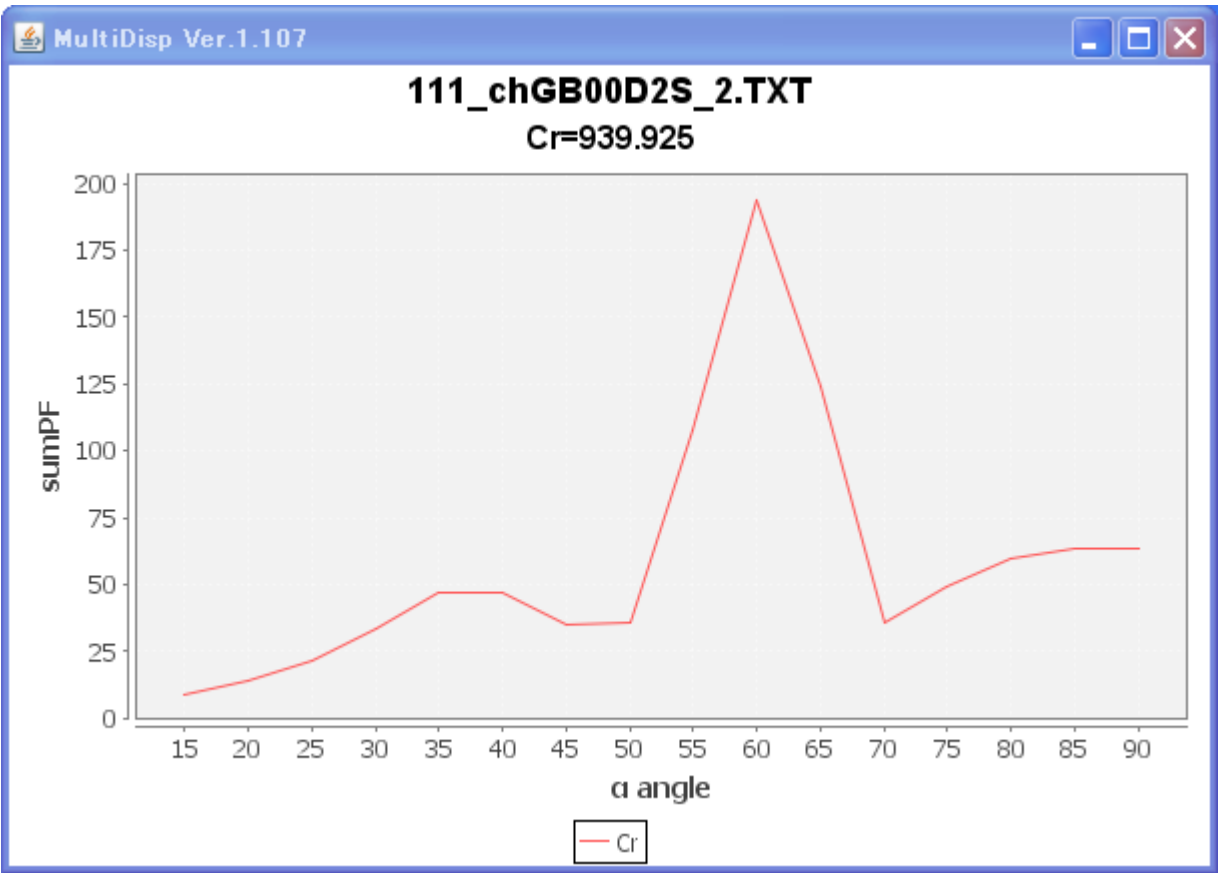


ファイル名と極点図が表示される。

Listで入力データが表示される。



Calcで計算結果Crが表示される。

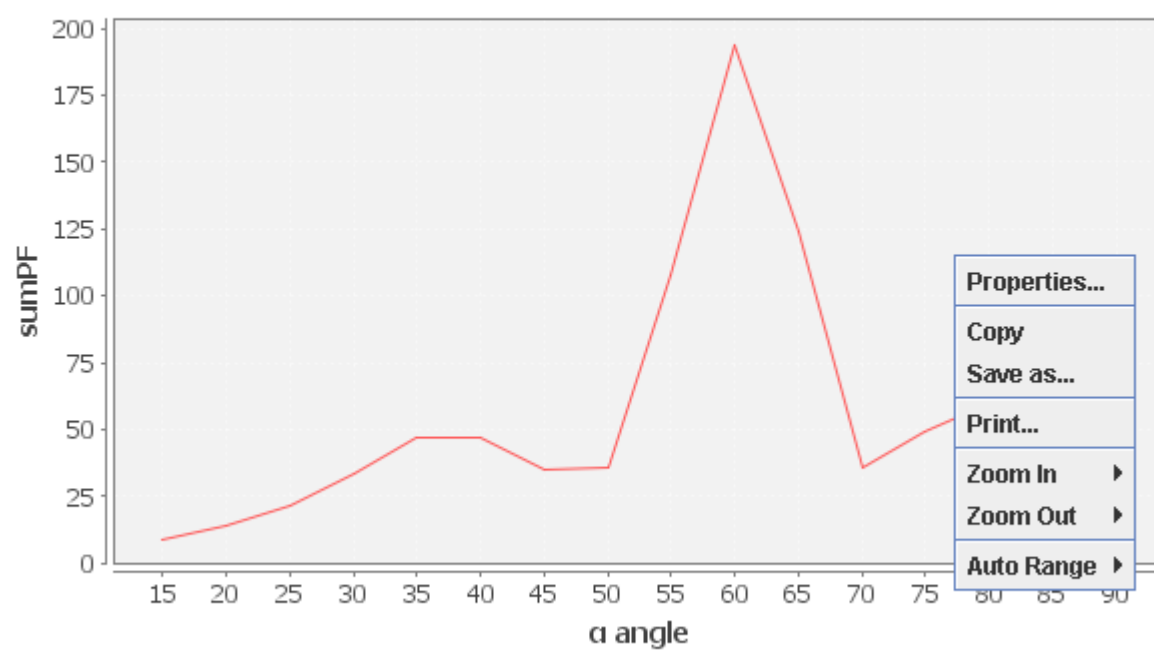


縦軸は、β方向の二乗和をα方向にプロット（α＝90は極点図の中心）

画面上をマウス右クリック、Printで印刷が可能になります。

111_chGB00D2S_2.TXT

Cr=939.925



— Cr